

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

○令和4年度 第1回「健笑庵のぎ」運営推進会議

対象事業所名：(有) ケアサポートことぶき「健笑庵のぎ」

サービス種類：地域密着型通所介護事業所

開催日：令和4年7月21日(木) 午後2時30分

開催場所：健笑庵のぎ

出席者：8名 ※内1名は書面にて参加

《内訳》

事業所(担当者)	3名	利用者	1名
利用者家族	1名	地域代表者	1名
知見を有する者	1名	松江市職員(書面にて)	1名

【議事・議題】

1. 活動等の状況

①通所事業の現状

◆登録者数(令和4年6月現在)：46名(うち男性3名、女性43名)

◆介護度別利用者数《サービス区分、介護度別の状況：令和4年6月現在》

総合事業通所サービス	該当者	6名	地域密着型通所介護事業	要介護1	23名
	要支援1	6名 (内、緩和型3名)		要介護2	4名
	要支援2	8名 (内、緩和型5名)		要介護3	0名
制度外(実費)利用者		0名		要介護4	0名
				要介護5	0名
				申請中	0名

◆各月利用者数

令和4年 1月	312名	令和4年 4月	342名
令和4年 2月	300名	令和4年 5月	354名
令和4年 3月	345名	令和4年 6月	349名

②活動報告

◆誕生会(誕生日の一番近い日に実施)

◆レクリエーション(季節に合わせたものや、要望に応えたもの)

- ・新年会 ・クイズ大会 ・野菜、果物の名前でビンゴ ・お抹茶会 ・おみくじ引き
- ・曜日対抗コロナ退散ゲーム ・節分豆まき ・カレンダー作成 ・的入れ ・玉入れ
- ・ハチの巣ピンポン玉入れゲーム ・桜のデイルーム飾り作り ・桜のお花見ドライブ
- ・マネー獲得ゲーム ・鯉のぼりの壁画作成 ・八雲親水公園へ鯉のぼり見学ドライブ
- ・ペットボトルボウリング ・曜日対抗カエル飛ばしゲームとその祝勝会 ・笹巻き作り

③日曜デイサービス (月1回、日曜日開催)

開催月	活動内容	参加人数
令和4年 1月	新年会(1班)(猫型時計作り、ミニコンサート)	13名
2月	新年会(2班)(猫型時計作り、ミニコンサート)	10名
3月	手作りプランターと桜餅作り(1班)	11名
4月	手作りプランターと桜餅作り(2班)	11名
5月	そば打ち体験	1班10名 2班10名
6月	一畑薬師参拝(1班)	12名

④その他の活動

- ◆防災訓練(1回/月)
- ・花壇、野菜作り(年中活動)
- ・洗濯物たたみ(毎日)

## 2. 相談および苦情受付状況・事故報告（対象期間：令和4年1月～6月）

### ①＜相談・苦情事例＞

○整容（髭剃り、爪切りなど）の支援について

〔状況〕

令和4年6月 家族様の申し出を受けて担当ケアマネジャーより連絡。当事者は週1回の利用、入浴支援あり。以前からの申し合わせて髭剃りや爪切りなどの整容支援の要望あり。この度、家族が面会した際に整容が不十分であったことから対応についての確認と徹底についての要望があった。

〔対応〕

その日にミーティングを行い、問い合わせの内容をスタッフ間で共有する。直近のご利用日の対応者に状況を確認する。整容の支援は継続的に対応している。髭剃りに関しては本人自身がされていることも多く、状況に応じて、剃り残しに対応しているが、剃り残しの程度によってはここでの実施を控えたこともあり、確実な対応ができなかったと思われる。また、爪切りについては状況に依り不定期での対応としているが、週に1度のご利用機会ということもありお休みがあると2週間も間が空くこともあり早目の対応が実施出来ていなかった事が分かった。今後、確実に髭剃り・爪切りを実施するよう、その日の入浴介助者が実施できない場合などには職員間の連絡を密にし、実施し忘れないように徹底する事を申し合わせた。連絡を頂いた2日後、デイサービスご利用当日にご本人様にも状況の説明を行い、髭剃り・爪切りを実施。また、後日家族様にも電話にて状況説明と今後の対応について報告した。

### ②＜相談・事故＞

\*この期間での受付および発生無し

### ③＜ヒヤリハット対象事例＞

\*この期間に発生無し

## 3. 研修会および勉強会

### ＜外部研修＞

実施日	研修会・勉強会内容	参加人数
R4.2.25	令和3年度介護保険事業集団指導（前半）：オンライン参加	2名
R4.3.15	令和3年度介護保険事業集団指導（後半）：オンライン参加	2名

### ＜内部研修＞

実施日	研修会・勉強会内容	参加人数
R4. 1. 10	通所介護計画について	5名
R4. 3. 1	心疾患について 1回目	5名
R4. 4. 12	心疾患について 2回目 ～狭心症について	5名
R4. 5. 2	のぎケース検討会（事例に対するの対応策）	5名
R4. 6. 3	のぎケース検討会（前回の事例対応についての結果と考察）	5名

## 4. ボランティア、福祉体験等の受入れの状況

- ・お話しボランティア：1回/週（2月で終了）
- ・松江市内中学生の福祉体験は感染予防のため中止

## 5. 業務継続計画（BCP）の策定に関わって

この度の新型コロナウイルス感染症や近年の大雨や大雪などの気象の影響による自然災害など、私たちが過去に経験したこともない、私たちの予測を超えた感染症や自然災害の脅威が身近に感じられるようになってきました。このような中で、令和3年度介護保険法の改正に伴い、当事業所を含む、すべての指定介護事業所では、感染症や自然災害等の発生時において、利用者に対するサービスの提供を継続的に実施するため、また非常時の体制で早期の業務再開を図るための「業務継続計画（BCP）」策定し、それに従い必要な措置として、研修や訓練、また計画の修正など平時からの備えを行うよう義務化（令和6年3月31日迄は努力義務）されています。弊社ではこれを受け、令和5年度中の計画策定の完了を目指し取り組んでいるところです。策定の内容項目、また策定上の課題は以下の通りです。

○策定内容

### ①感染症に係る業務継続計画

- 平時からの備え：体制の整備、感染防止に向けた取組、消毒液や防護用品の確保など
- 初動対応：感染確認からの対応手順など
- 感染拡大防止体制の確立：保健所との連携、濃厚接触者への対応、関係所との情報共有など

## ②災害に係る業務継続計画

- a 平常時の対応：建物や設備の安全対策、必要品の備蓄など
- b 緊急時の対応：対応体制など
- c 地域及び関連機関との連携：避難や救助支援の連携体制など

## ③研修について

- a 業務継続計画について職員間で共有
- b 災害に対する知識と備えの理解の励行
- c 感染症予防を蔓延防止のための研修の機会

## ④訓練について

- a 計画に基づく役割分担の確認、実施するケアの演習を行う
- b 年一回以上の定期的開催

## ○『健笑庵のぎ』における、策定上での課題及び問題点

- ①従業員が少数のため、体制上の役割分担が業務重複する。
- ②また、従業員の代替えや緊急補充に限界があり、災害時のケアが不十分である。
- ③通所介護の単独サービスのため事業所内での支援には限界があることから広範囲での情報共有が必要となる。
- ④災害状況やその程度により、段階的な体制構築が必要となることから策定が複雑多岐に及んでいる。
- ⑤弊社、事業規模に応じた実施可能な計画査定が必要である。

## 6. コロナ禍における通所介護事業のあり方について

新型コロナウイルス感染症は2020年（令和2年）1月に国内での感染者が初めて確認され、今日に至っているところですが、まだまだ終息を見ないのが現状です。松江市内においても7月に入ってから毎日100人を超える数の感染者が報告されています。高齢者介護施設などの集団感染の報告も多数聞かれています。そのような中で、当事業所においても、介護事業所という事業の性格から、感染症の影響からサービスが途切れることがないように徹底した感染予防とご利用者及び家族様と情報を共有し、連携を基本にした感染対策を継続してきました。皆様のご理解とご協力のお蔭で、現在まで感染による休業や停止はありませんが、今後も徹底した感染予防に努め、感染の起因にならぬよう取り組んでいきたいと思っております。また活動内容については、感染症の流行以降、外出や外食、またボランティア等の受入れなど主に地域交流の機会が失われてきた現状があります。新型コロナウイルス感染症の問題は長期化となり、予防策としてマスクの着用や手指消毒、他者との接触の状況など確立されています。そのことから感染対策徹底した上で、地域交流の機会を徐々に増やしたいと考えています。

## 7. 市場の価格高騰による通所介護事業運営への影響について

昨今のガソリン価格の高騰や食品など様々な製品の価格値上げが通所介護事業の経営にも大きく影響しています。通常、通所事業の売上の9割が介護報酬によるものです。根底にはこの介護報酬が制度的に定められており、市場の情勢が適宜反映される性格のものではないということがあげられます。その為、限られる範囲での対応として仕入れ価格の変更に合わせ、デイサービスでの昼食やお茶菓子に係る食材費を値上げ（令和4年7月1日より一回650円から690円に変更）させていただくことにいたしました。今後も市場の状況に応じた変更が必要と考えています。

## 8. 報告に対する質問意見および要望

### <意見・要望>

#### ○活動等報告に関わって

- ・利用者数について、コロナ禍で感染拡大がみられた3～5月、利用者数が減ってもおかしくないところであるが、維持できているのは評価できる。[知見有識者]
- ・介護度が重度の方がおられないのは、利用者の状態（介護度）が維持できているということで評価できる。[知見有識者]
- ・健笑庵を利用する前に別のデイサービスを利用することを本人に勧めたことがあるが、泣いて拒否していたが、今は利用する日を楽しみに待っている。利用回数も増やすことが出来た。家族として「行かせている」という罪悪感が無くなって良かった。また、誕生会の折にいただいた、写真の楽しそうな表情を見て救われた。[家族]
- ・デイサービスの日は朝からウキウキしている。みんなの顔を見るだけで楽しい。[利用者]
- ・日曜デイサービスなど、感染対策をしながらコロナ禍での活動を前向きに取り組んでおられるのは評価できる。[知見有識者]
- ・母が外出行事活動に自分から参加するようになり喜んでる。[家族]
- ・コロナ禍の中、サービスを継続し、休業しないように取り組んでおられることに感心する。[地域代表者]
- ・昼食の内容については個人的には食べ物に好き嫌いはないので全て美味しくいただいている。何より皆さんと一緒に食べる食事が美味しい。[利用者]
- ・コロナ感染予防として今まではあまり意識しなかったが、帰宅してからや食事前に手を洗うのが習慣になった。[家族]

- 事業所や職員との連絡体制について、連絡帳では伝えることが出来ないことがあるが、送迎時にスタッフと直接話ができるのが良い。[家族]
- 「業務継続計画（BCP）の策定」については当方の事業所でも定期的に会議を開催し策定に向け協議している。災害の内容によってどのような対応が必要になるのかまだまだ、協議が必要と感じている。[知見有識者]
- コロナ感染症対策については注意配慮を行い取り組んでおられる。自身も今まで以上に体調にはや周りを意識して対応に当たっている。[地域代表者]
- コロナ感染者増により、自宅療養者が増え訪問看護では現在ひとりの看護師が70人/月の対応をされておりひっ迫している状況。ひとり部屋に籠らざるを得ず、孤立感からうつ状態になる方もおられる。デイサービスは密になりやすいため、重症化を防ぎ、死者を出さないためにも感染対策は重要。[知見有識者]
- この3年で地域の様子も変わってきた。感染予防のため地域の集まりや定期的に行っていたバス旅行も中止した。人との行き来がなくなり、家に籠る方も増えた。状況が確認し辛い事例もあり、食事ができているのかなど心配。マスク着用や手洗い、換気など基本的な感染予防はこれからも続けていかなくてはならないと思う。[地域代表者]

<質問>

- Q：コロナ禍での研修の方法について。内部研修はどのように行い、外部研修はズームなどでの参加はしていないのか。[知見有識者]  
A：内部研修については対面形式としている。外部研修についてはズーム参加も取り入れている。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
<input type="checkbox"/> 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○